北海道倶楽部
毎月１回１日発行　定価８０円
公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道情報紙 知らないこと いっぱい！！

HOKKAIDO CLUB SINCE 1927

交流イベントなごやかに 倶楽部

120人が親睦深める

北海道倶楽部が主催する、秋恒例の「交流イベント」が10月７日夜、会員ら約１２０人が参加して東京・千代田区のホテルニューオータニで開かれた。倶楽部は２０２７年、創設１００周年を迎えるが、小林敬一会長は「記念式典などを成功させるためにも、積極的な協力、援助をお願いしたい」と呼びかけた。



今年60回目となる交流イベントは、倶楽部最大の公益事業。会員らの親睦を図るとともに、北方領土返還、北海道新幹線の早期札幌開業、ふるさと納税など、倶楽部が取り組むキャンペーンを訴えるのが目的だ。

会員のほか、国会議員、国土交通省、道など自治体から多くの関係者が出席した。

イベントではまず小林会長があいさつ。「最近の北海道の動きにわくわくしている。副首都構想、食糧安全保障、AI、スマート農業など、北海道が日本を元気にしていく時代の到来だ」と力を込めた。この後、国交省、道などが相次いで祝辞を述べた。

続いて懇親会に移り、有末真哉理事長の音頭で乾杯＝**写真上**。

会場には道産の日本酒やワイン、同ホテル自慢の料理が用意され、参加者が舌鼓を打った。各テーブルでは名刺交換する光景も。「友人と久しぶりに再会でき、会話がはずんだ」と会員らは口をそろえた。

毎年、札幌で開かれるPMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）で育った演奏家がアトラクションとして出演。モーツァルト作品などを優雅に奏で＝**写真下**＝、会場から大きな拍手が沸いた。

呼び物の福引抽選会は、



今年も会員企業から多くの商品が提供された。ホテル宿泊券など「高額商品」の抽選では、当たりくじが読み上げられるたびに、会場は歓声とため息が交錯した。

来年、倶楽部が１００周年を迎えるため、イベントの模様を札幌の月刊誌「財界さっぽろ」（**北海道倶楽部会員**）が詳細に取材した。

新入会員 維持会員

▼宏陽株式会社　（代表取締役社長　西川　秋仁氏）登録会員　西川　秋仁氏　池土　康治氏

▼NTTデータ　カスタマサービス株式会社　（代表取締役社長　稲村　佳津子氏）登録会員　小林　晴樹氏　澤藤　慎也氏

▼日鉄物産株式会社　（執行役員　涌嶋　誠一氏）登録会員　涌嶋　誠一氏　船山　和範氏

倉本聰さん死去

「北の国から」で家族の絆描く 富良野観光を全国区に

テレビドラマ「北の国から」（フジテレビ系）で知られる、富良野市在住の脚本家、倉本聰さんが９月18日、多臓器不全のため自宅で死去した。91歳だった。北国の雄大な自然の中で生きる家族の絆を描いた唯一無二の作品は、大きな感動を呼び、ロケ地の富良野市をはじめとする、北海道観光を飛躍させた。北の大地の可能性を信じ、価値を高めたその功績は計り知れない。

東京都出身。東京大文学部在学中からラジオドラマの脚本を書き始め、１９５５年にニッポン放送入社。「パパ起きてちょうだい」の脚本などを手掛け た。63年フリーになり、舟」の制作を巡って、ＮＨＫとトラブルになり、北海道に移住。77年には富良野に自宅を構え、81年富良野を舞台にした代表作の連続テレビドラマ「北の国から」が全国に流れ始めた。

富良野の大自然の中で、黒板五郎、純、蛍の一家が繰り広げる純粋で素朴な家族愛、自然への畏敬、バブル経済への懐疑…。倉本さんは作品を通して、国民に問いかけ続けた。

「北の国から」後も、「優しい時間」（フジテレビ系）など、道内を舞台にした作品を手掛け、86年には映画監督も。84年に役者と脚本家を育てる私塾「富良野塾」を創設、塾生たちと「今日、悲別で」などの演劇を創作した。

２０００年に紫綬褒章を受章、03年に向田邦子賞、10年に旭日小授章。

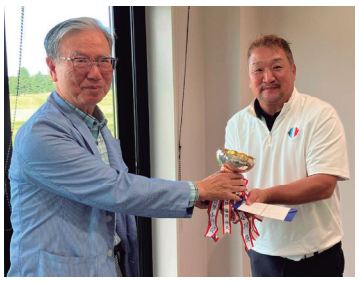
西川さんが優勝

北海道北星会

ゴルフの第33回北海道北星会は９月25日、14人が参加して千歳市のザ・ノースカントリーゴルフクラブで開かれ、西川秋仁さん＝**写真右**＝がネット72・６（グロス87、ハンデ14・４）で優勝した。

準優勝～５位までは次の通り（敬称略）

▽準優勝　小川優（Ｇ96、Ｈ22・８　Ｎ73・２）▽３位　木保和幸（Ｇ87、Ｈ12、Ｎ75）▽４位　石本孝広（Ｇ104、Ｈ28・８、Ｎ75・２）▽５位　小池明夫（Ｇ109、Ｈ33・６、Ｎ75・４）



★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

We Love Hokkaido 北海道～キャンペーン 第60回交流イベントご協賛企業 ありがとうございました（敬称略）

阿部　修平
株式会社安藤・間
北海道池田町　ブドウ・ブドウ酒研究所
伊藤組土建株式会社
岩倉建設株式会社
岩田醸造株式会社
岩田地崎建設株式会社
株式会社カナモト
菊池食品工業株式会社
株式会社北見ハッカ通商
株式会社グランビスタ ホテル&リゾート
栗林商船株式会社
株式会社京王プラザホテル札幌
公益財団法人札幌交響楽団
サッポロビール株式会社
清水鋼鐵株式会社
株式会社東洋実業
東京美装ホールディングス株式会社
戸田建設株式会社
ナラサキ産業株式会社
ニッカウヰスキー株式会社
日本甜菜製糖株式会社
日本ハム株式会社
株式会社ニトリホールディングス
株式会社日本ハウスホールディングス
※協賛品、協賛金のご協賛企業を掲載しております。その他にもたくさんのご協力を頂きました。ありがとうございます。

株式会社ニュー・オータニ
公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会
東日本旅客鉄道株式会社
古河電気工業株式会社
文化シヤッター株式会社
株式会社北洋銀行
ホクレン農業協同組合連合会
株式会社北海道新聞社
株式会社北海道銀行
北海道フードフロンティア株式会社
北海道放送株式会社
北海道旅客鉄道株式会社
北海道ワイン株式会社
株式会社マツオ
丸彦渡辺建設株式会社
三ツ輪運輸株式会社
無臭元工業株式会社
株式会社明治
森永乳業株式会社
雪印メグミルク株式会社
株式会社レオパレス21
浦河町
根室市

ふるさとの本ご案内　北海道新聞社



北の自然じかん
ボクは都会に生きる
ハシブトガラス
中村眞樹子 著
B5判　64頁　定価1650円
札幌中心部でのカラスの子育てと成鳥までの歩みを写真とイラストで紹介。繁殖、遊び、食事、ねぐらなどの生態を詳しく解説する。

カレンダー2027
しまえながのきもち
写真：山本光一　月めくり卓上式
A5判　定価1100円



大人気、北海道のシマエナガの四季折々の愛らしい姿とほんわかコメントを毎日のお供に。

カレンダー
北海道の鉄道風景2027
北海道新聞社編　月めくり壁掛け式
A3判（開くとA2判）　定価1540円



北海道の美しい鉄道風景が、珠玉の写真で。四季折々の大パノラマがお楽しみいただけます。

北海道新聞社出版センター　〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
TEL 011-210-5744　受付 9：30～17：30（土日・祝日を除く）　価格は税込
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします(代引き・送料別途)
お求めは書店またはインターネットで

北海道フェアin代々木に20万人超

人気グルメ、名産品求め人の波

実りの秋恒例の「北海道フェアin代々木」（実行委主催、**北海道倶楽部**など後援）が今年も10月1～4日、東京・渋谷区の代々木公園で開かれ、北海道グルメや、在京ふるさと会が提供する道内各地の名産品を求め、首都圏各地から20万人超の買い物客らが詰めかけた。同時に、首都圏の百貨店などでは今が「秋の北海道展」のピーク。秋の風物詩として定着し、どこも大盛況だ。

ふるさと会連合会は「産直フェア」



にぎわう産直フェアゾーン



北方領土返還ブースで署名する来場者

同イベントは首都圏最大の北海道物産展で、今年で36回目。会場は「まるごと北海道の味覚」が味わえる「ザ・北海食道」ゾーンと、首都圏在住の道内出身者らによる「北海道産直フェア」（30回目）ゾーンに分かれ、北海食道ゾーンでは、海鮮丼、ラーメン、ジンギスカン、スイーツなどの道内有名店がブースを構えた。

都内で青空の下、北海道の「出来秋」が味わえるとあって、初日から来場者が続々。会場のあちこちから「おいしい。さすが北海道！」の声が上がった。

「産直フェア」ゾーンには稚内、北見、栗山、美唄など24市町の在京ふるさと会が出店、新鮮な道産野菜や海鮮、乳製品などを販売した。週末はごった返し、主催の北海道ふるさと会連合会は「都民にも、すっかりおなじみのイベントになった」。

会場には、道が「北方領土返還」の署名コーナーも。ロシアのプーチン大統領が択捉島の訪問を強行するなど、日ロ関係が冷え切っているだけに関心が高く、ブース前に長い列ができた。

実行委のまとめによると、期間中、天候に恵まれ来場者数は約20万7000人に上り、昨年の約18万人を上回ったという。

首都圏の百貨店など北海道展ピーク

一方、東京、神奈川、千葉、埼玉など首都圏の百貨店、スーパーなどでは秋の「北海道物産展」がたけなわ。北海道グルメ、海の幸、農作物などが満載で、どこも消費者の人気は高い。

横浜市内の百貨店を訪れた主婦は「北海道展にはよく行く。はずれがないのが魅力です」と話した。

稚内ーサハリン旅客航路定着

ユジノサハリンスクに駐在する、北海道新聞記者がロシア当局に拘束されるなど、日ロ関係が冷え込む中で、昨年、サハリン州・コルサコフと稚内間で運航を開始した小型の旅客船の利用が順調だ。日ロ間の航空便が途絶えていることから、ロシア人観光客などの需要が定着し、一部日本人にも利用されているという。

ロシア人観光客の足に



稚内湾に停泊中の「ハヤテ」（北海道新聞社提供）

この旅客船は「ハヤテ」。内ーコルサコフ間を約3時間で結ぶ。

もともと九州で使われていた日本の元漁業取締船で、昨年4月、サハリン在住のロシア人らが関わる運航会社が就航させた。運賃は往復約17万円、定員12人で稚内ーコルサコフ間を約3時間で結ぶ。

運航会社がロシア国営タス通信に明らかにしたところによると、需要の増加を受け、夏場は運行本数を月3便から5便に増便した。乗客の大半はサハリン在住のロシア人で、4月～7月末までの利用者は250人に上る。今年は12月まで運航予定。10月末までは、ほぼ満席の状況だ。

かつてユジノサハリンスクと新千歳間には、空路の直行便があった。しかし、ロシアのウクライナ侵攻で再開の見通しは立たず、現在、サハリンから日本を訪れる多くのロシア人は、中国経由の航空便を利用している。

「ハヤテ」は残された唯一の「直行ルート」のため、一定の需要があると見られる。

日ロ関係の悪化で、日本側では「ハヤテ」の存在はあまり知られていないが、今年9月には日本人と見られる観光客が、稚内からサハリンに向かう様子を交流サイト（SNS）に投稿、ネット上で拡散した。

宗谷海峡は波が荒く、SNSには船体が大きく揺れる動画も。このため、稚内の港湾関係者の間では「波が高くなる北の海で、航行して大丈夫なのか」と不安視する声も出ている。

ラピダス社長「月に半導体工場を」

米国講演で語る「冗談ではなく真剣だ」



次世代半導体の国産化を目指し、千歳市で稼働を始めたラピダス（東京）の小池淳義社長＝写真、**北海道倶楽部会員**＝が9月、米国で講演し、2040年ごろ月面に半導体工場を建設するという、夢いっぱいの構想を明らかにした。北海道新聞が伝えた。

小池氏は半導体の製造に必要な水資源が、月面にあることなどを挙げ、「冗談ではなく、真剣な計画だ」と述べた。

講演の中で小池氏は、人工知能（AI）を使って作った月面工場のイメージ映像を紹介。月に人や貨物を運ぶ事業を計画しているイーロン・マスク氏も「この動画をとても気に入るだろう」と話し、会場を沸かせた。

実現には高いハードルがあるものの、「月面工場構想」で、ラピダスで働く若手技術者らに、奮起を促す狙いもありそうだ。

不要家具をリサイクル

ニトリが埼玉に施設建設

家具・インテリア製造小売り最大手のニトリホールディングス（HD、**北海道倶楽部会員**）が、不要になった家具のリサイクル事業に乗り出すことになった。2028年度、埼玉県内に使用済み家具の分別、破砕、選別をするリサイクルセンターを開設、廃棄物の資源化を進める。リサイクル施設では、国内最大規模になるといい、資源循環型のビジネスモデル構築を目指す考えだ。

処理施設は県北部の本庄市に計画し、土地面積は約1万5000平方㍍に上る。粗大ごみの破砕や選別をする施設2棟と、事務所兼研究室1棟を建設。研究施設では、分別や資源化のノウハウを蓄積し、リサイクルしやすい家具の開発に生かす。

稼働は28年度上期を予定。関東1都6県の店舗や物流拠点で、他社製品も含め不要家具を回収し、年間1万㌧以上を処理する計画という。

ニトリは従来、家具配送時に不要家具を有料で引き取り、回収した製品は廃棄処理していた。ただ、燃料費の高騰や人出不足で、処分費用は上昇。新たに再資源化に取り組むことで、年間1億円以上の処理コスト削減を見込んでいる。

同社の試算によると、国内の家具のリサイクル率は、2割程度にとどまる。今回の施設稼働を契機に、分別・資源化しやすい商品開発や、リサイクル資源の活用について、検討を進める方針だ。

新千歳で国際会議

アジアを中心とした、世界各地の航空会社や空港運営会社の経営層が集う、「エアラインリーダーサミットアジア」が10月1、2の両日、新千歳空港で開かれた。

オーストラリアの民間シンクタンク「CAPA」の主催。日本での開催は初めて、約30カ国から約400人が参加した。

新千歳空港など道内7空港を運営する北海道エアポート（HAP、千歳）の山崎雅生社長は、「北海道の市場は拡大し、アジアだけでなく世界からも選ばれる就航地になりつつある。みなさんのパートナーとしてともに成長していきたい」と述べ、参加者を歓迎した。

知事エッセー ～日高管内で～



北海道知事の鈴木直道です。今回、私が訪問したのは、日高管内平取町にある「平取町アイヌ工芸伝承館ウレシパ」です。

この施設は、伝統工芸品として国の指定を受けている木彫りの「二風谷イタ」や織物の「二風谷アットゥシ」をはじめとしたアイヌ工芸の作家を志す方々が、第一線で活躍する工芸家から技術を学ぶとともに、誰もが気軽に体験できる場として、アイヌ工芸の伝承と理解を深めることのできる施設であり、私も、木の香りを楽しみながら、コースターの木彫りを体験させていただきました。

また、新井施設長や3人の若手作家の皆様から、地域全体で若手作家のサポートに取り組み、作家ご自身とともに、周囲の方々も成長を実感されていることや、工芸の地域おこし協力隊の仲間と新たな企画展に取り組んでいること、国内外でアイヌ文化を積極的に発信されている体験談などを伺い、未来につながる活動を大変頼もしく思いました。



皆様の更なるご活躍を期待するとともに、道としても、関係する皆様と連携し、アイヌ工芸品をはじめとしたアイヌ文化の魅力を道内外の方々に広く知っていただけるよう取り組んでまいります。

北海道新聞社の本

★2027高校受験対策問題集　どうしんDoチャレンジ

北海道新聞社編／問題作成・進学舎（北海道学力コンクール）　A4判　96頁　定価990円

北海道の公立高校入試に精通した北海道学力コンクールが、2027年度高校入試対策問題を作成。主要5教科について受験までにおさらいしておきたいポイントを問題集形式にまとめ、解説する。



★道新プラス北海道の鉄道2027

北海道新聞社編　B5判　96頁　定価1430円

北海道の鉄道の魅力を伝える専門誌。巻頭特集「遥かなる北の大地」では、四季折々の写真で釧網本線、函館本線山線など道内ローカル線を紹介する。

★千歳市空港開港100年記念カレンダー2027

北海道エアポート著

千歳市に初めて飛行機が降り立ってから100年。北海道の空の玄関口の歴史を写真で紹介するカレンダー。

〈卓上式　月めくり・14枚　プラケース付　ポストカード仕様〉A5判　定価1320円

〈壁掛け式　月めくり・14枚つづり〉A4判（開くとA3判）　定価1650円

新冠町のご紹介
にいかっぷ

「思いやりと笑顔あふれる“レ・コードなまち”にいかっぷ」

観光スポット

○聴体験文化交流施設 レ・コード館

新冠町が取り組む「レ・コードと音楽によるまちづくり」の中核施設として建設されたレ・コード館。館内には、歴史的価値のある蓄音機や黎明期のレコード盤など、貴重な音楽資料が展示されています。





全国の音楽愛好家から寄贈されたレコードは約100万枚を数え、専用の収蔵庫で保管されています。館内では、実際にレコードを聴くこともできます。施設のために特注された全長3.4mの「オールホーンスピーカー」によって、レコードならではの音を楽しめます。

※現在、レコードの寄贈は受け付けていません。



○道の駅周辺施設

新冠町の道の駅「サラブレッドロード新冠」は、日高の海岸線を走る国道235号線沿いにあります。2026年2月には日高自動車道新冠インターチェンジが開設され、札幌圏を中心とする道央地域からのアクセスが短縮されました。

道の駅では、新冠町の特産品であるピーマンを使った「ピーマンソフトクリーム」も味わえます。隣接する「にいかっぷキッチン」には、青果、精肉、鮮魚、洋菓子を扱う4店が出店しています。さらに、敷地内には新冠が生んだ中央G1勝利馬を称える62基の石碑が並び、国道沿いには新冠町で生まれたハイセイコーの馬像もあります。





○新冠温泉ホテルヒルズ

新冠の雄大な自然を望む高台に建つ温泉宿泊施設で、日帰り入浴もできます。露天風呂や客室からは、時間とともに変化する空の景色を楽しめます。地元産の新鮮な海鮮やブランド和牛を使った食事を提供しているほか、1室限定で、町で生まれた無敗の三冠馬「コントレイル」のコンセプトルームを用意。コントレイル号の写真や主戦騎手のサイン、勝利したGIレースの写真などが展示されています。





○にいかっぷホロシリ乗馬クラブ

新冠温泉近くの太平洋を望む丘の上にある乗馬クラブです。馬産地・新冠らしく、在籍する馬のほとんどが元競走馬で、現役時代にGI・重賞を勝利した馬を相棒に、森の中で本格的なホーストレッキングを楽しめます。初心者でもインストラクターの指導を受けながら体験でき、既舎の見学や馬への餌やり、オリジナルグッズの購入も楽しめます。



○判官館森林公園

新冠川河口の丘陵地に66ヘクタールの敷地が広がる、新冠町を代表する公園です。源義経がこの地に館を築いたという伝説が残り、自然の中を散策できる遊歩道が整備されています。

「判官岬」からは新冠市街地と太平洋を一望できます。春から秋にかけてはさまざまな草花を楽しむことができ、オオバナノエンレイソウの群生も見られます。また、キャンプ場やバーベキューハウスもあります。





新冠町へのアクセス

URL：https://www.niikappu.jp/kurashi/sekatsu/sumai/teijyu/kihon/index.html

QR コードはこちら→



市町村から

○新冠町について

新冠町は北海道南部の日高振興局管内のほぼ中央に位置し、南は太平洋、北は日高山脈に面しています。面積は585.51㎢で、約71％を山林が占めています。海洋性の気候で、夏は涼しく冬は比較的温暖です。明治14年（1881年）に戸長役場が設置され、昭和36年（1961年）には「新冠村」から「新冠町」となりました。



○産業・グルメ

新冠町は、軽種馬産業、農畜産業、水産業が盛んな町です。軽種馬産業では、ハイセイコー、ナリタブライアン、コントレイルなど、全国の競馬ファンを沸かせた名馬を生産してきました。



農業では、米や野菜、乳用牛・肉用牛などを幅広く生産しています。野菜では、「にいかっぷピーマン」をはじめ、アスパラガスなどの施設野菜も生産しています。「にいかっぷピーマン」は大ぶりで苦みが少なく、甘みがあるのが特徴で、北海道内外に出荷されています。道の駅「サラブレッドロード新冠」では、「ピーマンソフトクリーム」のほか、今年から販売を始めた「ピーマンどら焼き」も好評です。



水産業では、サケ、タコ、ホッキ貝などが水揚げされています。昆布漁も行われ、「日高昆布」は全国的に知られる特産品として、全国各地に出荷されています。

○イベント

新冠の盛夏を告げる「にいかっぷふるさと祭り」は毎年7月中旬に開催され、出店が立ち並ぶ中、氷川若衆会を中心とする周慶みこしの練り歩きや新冠判官太鼓保存会による演奏、歌謡ショーなど、多彩な催しが2日間にわたり行われます。8月には「にいかっぷふるさと盆踊り」が開かれ、「北海盆踊り」や「新冠音頭」で賑わいます。



○自治体の取り組み「レ・コード」のまちにいかっぷ

新冠町は「競走馬とレコードのまち」として知られ、町の至るところで「レ・コード」という言葉が使われています。「レ・コード」とは、「リターン（帰る）、リフレッシュ（回復）」の頭文字の「レ／RE」と、ラテン語で「心」という意味の「コード／CORD」を組み合わせて「レ・コード／RE・CORD」と表記し、「大切な心に帰る・心の再生」などの大きな意味の広がりを持つ言葉として町が作った造語です。新冠町では、この「レ・コード」の精神をまちづくりの根底に据えています。

移住等について

○関係人口の創出

新冠町は、関係人口の増加を目的に2024年度から大学との事業連携を推進しています。

事業は、サラブレッド生産の現場をフィールドにサラブレッド生産とまちづくりについて学生が提言するもので、現在は法政大学と東京大学がそれぞれ活動しています。



2026年度は、フィールドワークに参加した大学生が大学を休学し、地域おこし協力隊員として活躍するなど、関係人口が実際のまちづくりの戦力となる実例をも生み出しました。

今後は、大学連携の取り組みを深め、さまざまなまちづくり施策への波及効果を目指します。

○企業誘致

町は、廃校となった朝日小学校を多目的施設「朝日の森」として2024年度から利活用を開始しました。

主な活用は、町外からの事業所進出受入れ施設として再利用しており、現在では、首都圏から事業を一部移転したドローン開発会社と化粧品開発会社が事業所を設置しています。

また町は、創業支援の制度を本年度設け、起業支援を積極的に行っています。支援は、町外事業者が町内で起業する際の支援を充実させ、町外からの事業呼込みを積極的に推進しています。（町外事業者の町内起業：300万円、町内事業者の起業：150万円）

新冠町は、町外からの事業誘致を進めることで移住者の増加につながる施策を積極的に推進して行くこととしています。



ふるさと納税

新冠町へのふるさと納税でいただいた寄附金は、「アナログレコード文化の保存活用に関する事業」、「世界で活躍する競走馬づくり支援に関する事業」、「まちづくりのために町長が必要とする事業」に活用しています。

町外在住の寄附者には、感謝の気持ちとして新冠町の特産品などを返礼品としてお届けしています。中でも、競走馬のふるさととしても知られる新冠の土地で育った牛の「ホロシリ牛乳」からつくられるホロシリ牛乳チーズは、制度開始当初から人気の返礼品です。そのほか、新冠町産の肉や魚介、野菜などの農水産物や加工品、温泉や乗馬クラブなどの町内施設利用券も取りそろえています。

新冠の魅力を感じられる返礼品を用意していますので、詳しくは新冠町ホームページをご覧ください。ふるさと納税に関することは、総務課総務グループ財政係までお問い合わせください。



※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ
新冠町役場　〒059－2492　北海道新冠郡新冠町字北星町3番地の2
TEL：0146－47－2111　FAX：0146－47－2600
E-mail：info@niikappu.jp
公式ホームページ　https://www.niikappu.jp

北海道 "NOW" information KITAKARA

企画・運営：北海道経済連合会　協力：北海道、一般社団法人 北海道移住交流促進協議会、総合商研株式会社

北海道で、あなたの経験を次の力に。

北海道から、日本の次を支える
北海道ネクストキャリアプロジェクト

あなたの経験が、地域の仕事と暮らしを支えます。

移住だけではなく、体験・短期滞在・ボランティア・二地域居住など、まずは"関わる入口"から!!

こんな方へ

- 北海道にゆかり・関心がある
- 退職後の新しい役割を探している
- 仕事や活動を通じて地域に関わりたい
- まずは体験から考えたい



できる関わり方

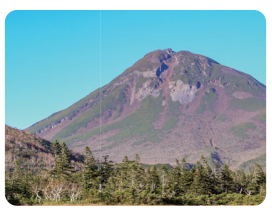
- 地域の仕事・職業体験に参加
- 観光・交通・地域イベントを支援
- 副業・プロボノ・ボランティアで関わる
- 二地域居住や移住を検討



地域で必要とされる仕事・活動の例

- 役場／団体
（地方創生・観光振興・地域イベント対応など）
- 運転手
（地域交通の担い手など）
- 農林水産業・地元商店
- 介護・福祉・子育て支援・教育支援

体験から地域との関わりにつながった事例



事例A　羅臼町
移住職場体験モニター事業 ～医療・介護・漁協～

漁業・介護・農業など、地域の仕事と暮らしを実際に体験。37名応募・15名受入・2名移住につながった実績。



事例B　日高地域広域公共交通確保対策協議会
移住体験&バスルート試乗モニターツアー

仕事と地域生活をセットで知る機会を設計。30名応募・10名参加・4名採用の実績。

北海道の移住について知りたい人はまずこちら!　北海道で暮らそう!

北海道への移住イベントスケジュールはこちら!　Monthly 北海道かいじゅう

あなたの「次の一歩」を、北海道で。

お気軽に、まずは情報収集・相談・体験から始めてみませんか?

1 知る
地域のしごとや暮らし、支援制度などの情報を知り、自分に合う関わり方を見つけましょう。

たとえば…
- キャリアプロジェクトの情報を見る
- 体験イベントや先輩の声を読む

2 相談する
相談窓口（WEBサイト）で情報を確認し、体験メニューを探して申し込みます。必要に応じて、市町村担当者へおつなぎします。

たとえば…
- 相談窓口で話してみる（オンラインOK）
- 移住体験ツアーなど相談し申し込む

3 体験する
移住体験や職業体験、地域イベントに参加して、北海道の暮らしや仕事を実際に体験できます。

たとえば…
- 移住体験や職場体験に参加してみる
- バス運転体験ツアーに参加する

4 関わる
移住・就業、ボランティア、地域活動など、あなたに合った形で地域とつながり、活動の場を広げていきます。

たとえば…
- 移住して仕事をする
- 地域の活動やまちづくりに参加する

北海道で新しい一歩を踏み出した先輩の声



様似町　林 慶銘さん

移住ストーリー

大阪から様似町へ移住し、地域交通を支えるバスドライバーに。

メッセージ

まずは現地を見て、仕事と暮らしを体験してみてほしい。地方移住は特別な経験やスキルがなくても、挑戦する意欲があれば実現できる。地域や企業の支援制度を活用しながら、自分らしい働き方と暮らし方を見つけてほしい。



新篠津村　小野 玲さん・千恵さん

移住ストーリー

千葉から新篠津村へ移住し、デザイナーとして在宅で働く子育て家族。

メッセージ

北海道の田舎暮らしは、不便さよりも、草の上で天の川を見る時間や、人とのつながりをダイレクトに実感できます。雪のある生活も慣れ、都市部の仕事を続けながら自然での子育てや生活を実現できます。



様似町　柵木 聡さん・雅美さん

移住ストーリー

関西から移住し、夫婦でいちご農園を営む新規就農者。

メッセージ

まずは一歩踏み出してみること。地域の支援や人との出会いを活かしながら、自分が本当にやりたいことに向き合えば、北海道で理想の暮らしを築くことができる。

北海道で、あなたの経験を活かしてみませんか?

地域の未来を、あなたの「次の一歩」から。
まずは気軽に情報を集めてみましょう。

本事業は、地域の自治体や団体と連携し、北海道での新しい働き方・暮らし方を応援するプロジェクトです。

お問い合わせ先❶
北海道移住交流促進協議会
TEL. 011-251-1055
E-MAIL. support@kuraso-hokkaido.com
相談受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00
（土日祝・年末年始を除く）

お問い合わせ先❷
北海道ふるさと移住定住推進センター
「どさんこ交流テラス」
東京・有楽町の交通会館内
TEL. 090-1541-0011
E-MAIL. hokkaido1@furusatokaiki.net
開設時間 火曜日～日曜日 10:00～18:00
休業日 月曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

現在準備中
ふるさと住民登録制度
地域とつながる新しい住民制度を準備中です。

北海道 "NOW" information KITAKARA

富良野・美瑛、釧路湿原ノロッコ号引退

ラストランに鉄道ファンらどっと

全国の鉄道ファンから絶大な人気を誇る、富良野・美瑛、釧路湿原の2つのノロッコ号が10月初めまでに運行を終了した。JR北海道によると、車両の老朽化がその理由。ラストラン当日、富良野線、釧網線沿線では別れを惜しむ地元の人たちや、観光客、鉄道ファンでにぎわった。「ノロッコ号、長い間の活躍お疲れさまでした」！。



大勢のファンに見送られ釧路駅を出発する釧路湿原ノロッコ号（北海道新聞社提供）

「ノロッコ」とは「のろのろ走る」と「トロッコ」を掛け合わせた造語。夏季の臨時観光列車として、釧網線の釧路湿原ノロッコ号が1989年から、富良野線の富良野・美瑛ノロッコ号が1998年から、それぞれ運行を始めた。

雄大な北海道の大自然を満喫できるとあって、スタート当初から観光客や鉄道ファンからの人気を集め、各列車とも満員の盛況。列車自体が観光資源にもなっていた。

ただ、運行開始から「釧路湿原」で37年、「富良野・美瑛」で28年が経過し、列車をけん引するディーゼル機関車や客車が老朽化。JR北は今季限りでの運行終了を決めた。


富良野・美瑛ノロッコ号のラストラン。沿線では撮り鉄が待ち構えた（同）

富良野・美瑛ノロッコ号のラストラン。沿線では撮り鉄が待ち構えた（同）

「お別れ」したのは9月23日。旭川駅のホームでは、多くの観光客や「撮り鉄」らが、満員の列車を見送った。札幌市から駆け付けた会社員は「お別れはつらいですが、良い撮影ができました」。

一方、10月10日ラストランを迎えた釧路湿原ノロッコ号も、大勢の市民や鉄道ファンに見送られて釧路駅を発車。乗客は、大きな窓から流れてくる湿原からの風を堪能した。

JR北は来季から新たな観光列車「赤い星」などを投入、地元の観光振興を図るという。

札幌市長選自民は伴氏支持、札幌市連幹事長



来春の札幌市長選で、自民党札幌支部連合会（札連）は、選考委員会委員27人の投票の結果、同党の候補に市議の伴良隆氏（48）＝写真、北海道新聞社提供＝を選んだ。伴氏は無所属で立候補の予定で、自民の推薦を受ける。

伴氏は東京都出身。衆院議員秘書などを経て、2011年に市議選北区で初当選、現在4期目。札連の幹事長も務める。市議が自民の候補になるのは、03年市長選の道見重信氏以来という。

市長選には、すでに中道改革連合を離党した元衆院議員の荒井優氏（51）、ITシステム開発会社社長の入沢拓也氏（46）が出馬を表明。共産党も擁立を検討している。

百歳前に後藤さんCD制作

元倶楽部会員の後藤さん


元北海道倶楽部会員の後藤吉助さん＝写真、東京・足立区＝が、今年12月の100歳の誕生日を前に、世界平和を訴える曲を収めたCDをつくった。

元北海道倶楽部会員の後藤吉助さん＝写真、東京・足立区＝が、今年12月の100歳の誕生日を前に、世界平和を訴える曲を収めたCDをつくった。

一連の騒動で一躍有名になったのが、栃木県の那須烏山市と那珂川町。私事だが那須烏山市は筆者が生まれ育った、愛するふるさとである。

▼三万石の城下町として知られ、毎年、夏に開かれる「山あげ祭り」はユネスコ（国連教育科学文化機関）の無形文化遺産だ。今夏、東京の友人を案内して見物に行ってきた。

▼そんな故郷を簗氏は「愚弄」した。時代劇ならさしずめ悪代官といったところか。東京新聞は「地元を見下している」という、同市の主婦の憤慨ぶりを伝えている。

▼高市早苗首相の判断も遅かった。問題発覚当初は「仕事で返してほしい」。シャトルバス送迎など第2の疑惑が浮上するに及んで、やっと重い腰を上げた。今、その任命責任を巡り国会で野党の厳しい追及を受けている。

▼簗氏は旧安倍派で、裏金事件で政治資金収支報告書に1746万円の不記載があった。ほとぼりが冷めたから農水相に起用したのだとすれば、あまりにも国民をバカにしている。（北）

▼衆院選で、対立候補を応援した首長がいる地元自治体の「道路予算をカットした」などと発言した、簗和生農水相が事実上更迭された。彼の行為は権力を笠に着た恫喝そのものだ。こんな政治家がいたのかと怒りがわいてくる。

北斗声

美幌の高校生、音楽コンクール世界一

ユニフォニアムの学生部門で

北見北斗高3年の石井愛さん（17）＝オホーツク管内美幌町＝が8月、米ミシガン州で開かれた世界最高峰の音楽コンクールで世界一になった。地元住民らに渡航費などの支援を受け勝ち取った快挙。「地元の人に喜んでもらえるのがうれしい」と真っ先に感謝の言葉を口にした。

石井さんが優勝したのは「レナード・ファルコーニ国際ユニフォニアム＆チューバフェスティバル2026」のユニフォニアム学生部門。コンクール＝写真、ユニフォニアムで世界一に輝いた石井さん（北海道新聞社提供）＝はユニフォニアムの世界的奏者の功績をたたえ、1986年に創設された。同部門の日本人の優勝は37年ぶり、道内在住者は初めてという。

この快挙には、地元住民らの協力があった。渡航費や滞在費が重くのしかかったが、「お金で夢をあきらめるのはもったいない」と6月から寄付の募集を開始。交流サイト（SNS）などで呼びかけたところ、同窓生らを含め多くの地元の人たちが寄付を寄せ、目標を大きく上回る150万円が集まった。

石井さんは「お世話になった美幌、北見の人を思い出そう」と、高ぶる感情を静めて決勝に臨んだ。審査員からは「表現の幅が広がった」と高い評価を受け、世界一が決まった。

石井さんがユニフォニアムを始めたのは、小学2年から。世界的な大会での優勝を果たし、今後の目標を「後輩が音楽で活躍できるよう、今度は自分が応援できる存在になりたい」と話している。

タマネギ景品のクレーンゲーム

女満別空港にお目見え



オホーツク管内産のタマネギが景品のクレーンゲーム「北見たまねぎキャッチャー」が9月18日、女満別空港にお目見えした＝写真、北海道新聞社提供。生産量全国一の北見のタマネギを、観光客にアピールしていく。

初日に挑戦した神奈川県の会社員は「（北見市が）タマネギの生産が日本一だと初めて知った。今後は地元のスーパーで産地をチェックしたい」と話した。11月3日まで設置された。





百歳を前に後藤さんがつくったCD

曲名は「愛ー世界平和祈願の歌ー」。後藤さん自らが作詞、作曲、歌手の高嶺百合子さんが歌い上げている。2番の歌詞にこうある。

「国家（くにぐに）の人種民族　相異（こと）なれど　願望（ねがい）は同一（ひとつ）つ　太陽（ひ）の光明下（もと）に　未来永劫　弛（ゆる）ぎ無く　相互依存の友愛為（ともな）りぬ」

ロシアのウクライナ侵攻、アメリカが仕掛けたイラン戦争…。後藤さんは、そんな今を憂い「狂乱ともいえる時代だが、一番大切なのは世界の平和。歌で世界を一つに、という思いでこの曲をつくった」と話す。

以前から作詞、作曲を手掛ける後藤さんは、このほかにも多くのCDを制作している。

うらかわ 浦河町のご紹介

「丘と海のまきば」～浦河町～ 観光スポット

○浦河町のＰＲ・観光スポット

北海道南部に位置する、人口約10，800人のまち、浦河町。夏は涼しく冬は温暖、雪が少ない海洋性気候で、「北海道の湘南」とも呼ばれる穏やかな気候が特長です。

ここには都会の様な大規模な娯楽施設や商業施設はありません。あるのは、資源豊富な太平洋と土の恵みに支えられた、豊かな暮らし。うらかわへの旅路には、どこまでも広がる水平線と日高山脈、そして馬の牧場が広がります。



○馬とふれあう町

浦河町は、約3，000頭のサラブレッドが暮らす日本有数の馬産地。町内には多くの牧場があり、馬の生産や育成を支える仕事が地域の産業として根付いています。牧場の風景や馬の姿が身近にあることは、浦河ならではの暮らしの魅力です。

「うらかわ優駿ビレッジＡＥＲＵ（アエル）」は、乗馬や馬とのふれあいを通して、馬のまち・浦河ならではの魅力を体験できる浦河を代表する観光・宿泊施設です。日高山脈を望む草原でのんびり過ごしたり、自然の中でゆったりとした時間を過ごせるのが魅力です。



また、明治40年に日高種馬牧場に建設された厩舎（きゅうしゃ）の外装を再現したノスタルジックな「再現厩舎」には、往年の名馬「スズカフェニックス・マイネルキッツ」たちが余生を送っており、道内外から競馬ファンが訪れます。

観光で馬を見るだけではなく、馬産地で暮らす人々の仕事や日常に触れてみる。子どもが自然の中で遊び、家族で馬と触れ合いながら過ごす。そんな「馬のいる暮らし」を実際に体験できることも、浦河でできる大きな魅力の一つです。

○北海道最古の映画館「大黒座」

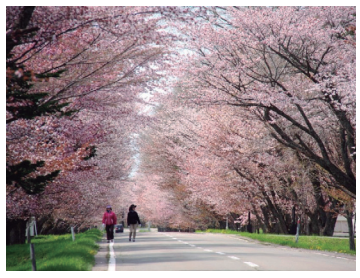
浦河町にある100年以上の歴史を持つ全国でも数少ない単館映画館です。1994年に建て替えられ、現在は全48席のミニシアターとして営業しています。

地元有志の「大黒座サポータークラブ」をはじめ、町民にファンも多く、皆が応援する特別な映画館です。館主の三上さんがセレクトする映画の数々を、歴史が感じられる趣のある「大黒座」でゆっくりとご鑑賞ください。

○四季折々の自然を楽しむ

春にぜひ訪れてほしいのが「優駿さくらロード」です。

西舎地区に約３㎞続く桜並木には1，000本を超えるエゾヤマザクラが植えられており、見頃となる５月上旬頃には、桜のトンネルと牧場風景が一体となった美しい景色が広がります。



「うらかわ優駿ビレッジＡＥＲＵ」の中庭は様々な品種の桜が植えられており、満開の時期がそれぞれ異なるため、長い期間桜を楽しむことができます。

桜の開花時期には「浦河桜まつり」も開催され、夜にはライトアップされた幻想的な桜を楽しむこともできます。

昆布漁が始まる夏になると、海岸沿いは昆布が並べられ、まるで昆布の絨毯のよう。

夕暮れ時には真っ赤な夕焼けに染まる浦河港の近くでは、浦河の夏の風物詩「浦河港まつり」（８月上旬）が開催されます。祭りは２日間にわたって開催され、フィナーレには大輪の花火が浦河の港を色鮮やかな光で彩ります。

海を望む景色なら「ルピナスの丘」もおすすめです。季節の花々が咲く丘からは太平洋を一望でき、夕暮れ時には海と空が赤く染まる美しい風景を見ることができます。町の写真ギャラリーでも、浦河を代表する景観の一つとして紹介されています。



秋には紅葉を楽しめる五色渓谷もおすすめです。日高と十勝を結ぶ、天馬街道（国道236号）沿いにある五色渓谷は、人気の紅葉スポットです。五色というその名のとおり、様々な色が鮮やかに秋を彩ります。



気温がぐっと下がり澄み切った青空が映える冬には、真っ白な日高山脈がそびえます。浦河の冬は、道内でも雪が少なく過ごしやすい環境です。

町内の河川では、国の天然記念物にも指定されている希少なオオワシ・オジロワシを見ることができます。浦河町は毎年多くのオオワシやオジロワシがやってくる北海道有数の飛来地です。また、町営の乗馬公園では屋内の乗馬場があるため、冬でも天候を気にせず乗馬を楽しむことができます。



季節や訪れる場所によってさまざまな表情を見せてくれる浦河町を、ぜひゆっくり巡ってみてください。

浦河町へのアクセス

URL：https://www.urakawa-tabi.com/access/

QR コードは
こちら→



市町村から

○地域のお店を、次の世代へ

浦河町では、地域の商店や事業者がこれからも地域に根付き、町の賑わいを繋いでいけるよう、商工業の振興に取り組んでいます。

その一つが、事業者が大切に育ててきたお店を次の世代につなぐ「事業承継」です。後継者がいない、或いは後継者はいるが承継の手続きであったり将来が不安なため、自身の代で廃業しようとしている長年地域に親しまれてきたお店をどう未来につないでいくかが大きな課題となっています。

浦河町では、事業を引き継ぎたい方や、引き継ぐ人を探している方を応援し、地域の商業やサービスを守りながら、新たな担い手による創業・チャレンジにもつなげていく取組を進めています。

○地域で使って地域を元気に。～うらかわタウンポイントＵＰＩＣ～

また、浦河町商店街連合会では町内の消費を促し地域経済の循環につなげるため、浦河町内で利用できる「うらかわタウンポイントＵＰ－Ｃ（通称アプカ）」の利用促進にも取り組んでいます。加盟店舗のお店で買い物やサービスを利用することで、地域のお店を応援し、そのお金がまた地域の中で使われる。そんな「地域内循環」の仕組みを広げています。

普段利用している町のお店には、地域の人々に長く愛されてきた歴史や、そこで働く人たちの思いがあります。浦河を訪れた際には、ぜひ加盟店舗に足を運んでみてください。

浦河町では、地域で頑張る事業者を応援しながら、これからも住み続けたい、訪れたいと思ってもらえるまちづくりを進めています。



○多文化共生のまち

町では近年、日本人の担い手不足、牧場で働く外国人が急激に増えていることから、多文化共生事業に力を入れ取り組んでいます。

現在は町の総人口の約６％に当たる６４５人以上の外国人が住んでおり、ここ数年はインドからの就労者が増加傾向で、平成26年には０人だったインド人が、令和８年７月末時点では４３４人まで増え、外国人全体の67％を占めています。

外国人の人口増加に比例して、役場への来庁者や相談も日々増加していきました。

町では令和７年度から外国人サポートセンターを設置しており、ＣＩＲ（国際交流員）を雇用し、外国人の窓口通訳対応等を行っています。また、合同会社クッシー・プランニング（稲岡千春さん）に母子の通院や健康管理等の支援について委託しています。

多文化共生事業として、外国人が知りたいこと、外国人に知ってほしいことをテーマとして外国人向けセミナーを実施し、年金や税金関係を説明しているほか、車の安全運転講習や自転車の乗り方講習なども実施しました。



今後も外国人も住み良い環境の構築のため引き続き多文化共生のまちづくりに向けて取組を行っていきたいと考えています。

企画課（多文化共生推進室）
電話番号：０１４６・２６・９０１２
ＦＡＸ番号：０１４６・２２・１２４０
メール：kikaku@town.urakawa.lg.jp

移住等について

○親子で浦河の暮らしを体験「保育園留学」

浦河町では、全国有数の馬産地ならではの牧歌的な風景や豊かな自然、地域の暮らしを実際に体験してもらいながら、将来的な移住や二地域居住などにつながるきっかけづくりに取り組んでいます。

その一つが、親子で滞在する「保育園留学」です。子どもは町内の保育・教育環境で過ごし、親は滞在先などで仕事をしながら、家族で浦河の自然や地域のさまざまな体験を楽しみます。



滞在先には、民間の住宅やホテルなどを活用。乗馬や釣り、農業体験など、浦河ならではの体験を楽しみながら、地域の日常に触れることができます。保育園留学をきっかけに浦河との関りを深め、二地域居住や将来的な移住など、それぞれのライフスタイルに合った浦河での暮らしの可能性を広げています。

一定期間、町内の住宅で実際に生活しながら、浦河での暮らしを体験することで、観光で訪れるだけでは分からないまちの様子や買い物、通勤等にかかる普段の生活を送ることで見えてくることもたくさんあります。滞在中は、町内を巡ったり地域の人と交流したり、自分のペースで浦河の暮らしに触れることが出来ます。地方で暮らしてみたい、夏は涼しい北海道で暮らしたい、そのような思いをお持ちの方は、まずは浦河のちょこっと暮らしで始めてみませんか。

商工観光課（移住交流推進係）
電話番号：０１４６－２６－９０１３
公式URL：https://www.town.urakawa.hokkaido.jp/jju/

○まずは「ちょこっと暮らし」してみませんか

浦河への移住を検討されている方を対象に、まちの魅力を知ってもらい、納得した上で浦河に住んでいただくことを目的として、主な家財道具や生活用品などを備えた滞在住宅を用意し、滞在期間を1週間～1年以内として、生活体験事業「ちょこっと暮らし」にも取り組んでいます。

ふるさと納税

日高山脈の清らかな伏流水が流れ出る浦河沖は、古くから親潮と黒潮がぶつかり合う豊かな漁場でした。しかし、令和３年に発生した赤潮被害や、温暖化に起因する海水温上昇の影響等により漁獲量は大きく減少しています。

浦河町では、漁業者の生活を守り、地域経済を再び活気づける新たな取り組みとして、令和６年度よりトラウトサーモンの海面養殖試験事業に取り組んできました。翌年７月には初水揚げが行われ、浦河の海で育ったトラウトサーモンが新たな地域産品として誕生しました。

現在では、お刺身用やスモークサーモンとして、ふるさと納税の返礼品に登録されています。

海の恵みを生かした新たな挑戦を、地域の産業として育てていくとともにぜひ、ふるさと納税を通じて全国の皆さまにも浦河町の一次産業を応援いただければ幸いです。



総務課（ふるさと納税担当）
電話番号：０１４６－２２－２３１１
ＦＡＸ番号：０１４６・２２・１２４０
メール：furusatourakawa@town.urakawa.hokkaido.jp

※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。